

ペットと「同行避難」で・・・？

ご存知でしたか？

熊本地震のとき「ペット同行避難」がニュースになりました。

「人の避難している体育館」にペットを連れて避難する。

と思っていませんでしたか？

違います！

ペットの飼い主も

「犬や猫が苦手な人がいる」ことはわかっています。

「アレルギーの人がいる」こともわかっています。

「衛生的に問題がある」

こともわかっています。

ペット同行避難は

「人が避難している場所にペットをつれて避難する」

ことではありません！！！！

事前に設定された

「ペットと飼い主のための避難場所に避難する」ことです。

「ペットが(飼い主以外の)人と同じ場所で避難生活をする」

ことではありません！！！！

「人の避難場所とペットの避難場所は区画される」のです。

ペットの飼い主にとって、ペットは子供であり、孫であり、
小さな子供にとっては弟や妹・友達でもあります。
だから・・・家族なのです。

子供のときからいっしょに暮らしてきた家族なのです。

「家族を置いて自分だけ避難する」ことは考えられません。

ペットは一人(一匹)では生きていけません。

東日本大震災のとき、「ペットを置いて人だけ避難」であったため

福島県だけで2500匹の犬が死にました。

(家族を置き去りにして死なせた、飼い主の気持ちがお分かりでしょうか！)

熊本地震では、ペット同行避難の場所が決まっていなかったために、ペットの飼い主は避難所に行くことを遠慮し

「ペットを抱いて車の中で生活」しました。

狭い車の中の生活によりストックホルム症候群になる方が増え、ボランティアの設置した**「テントでペットと生活」**ができるようになって初めて、人もペットも助かりました。

ペットの飼い主にとって**「ペット同行避難」**は切実な問題です。

そのために「ペットとぼうさい」というサークルをつくりました。
皆様のご理解、ご協力、ご参加をお待ちしています。

栗平白鳥自治会
ペットとぼうさいサークル
20161017